橋本家跡

橋本家は、多くの有名な政治家や歌人を輩出した名門、西園寺家の分家です。

第121代天皇、孝明天皇の妹である皇女和宮もこの邸宅で生まれています。和宮の母で、橋本実久の娘にあたる経子は、第120代天皇である仁孝天皇の典侍でした。皇女和宮は14歳になるまでここで育ちました。朝廷と幕府の融和が喫緊の課題となったため、和宮と有栖川宮との婚約が破棄され、14代将軍徳川家茂との婚姻が取り決められました。明治維新の後は、最後の将軍徳川慶喜の助命にも尽力しました。1877年、箱根での治療中に亡くなり、その亡骸は増上寺の徳川家茂の隣に埋葬されました。